

はじめに

東大阪市は、今年2月1日に市制施行50周年の記念すべき日を迎えます。

この間、本市では、「ラグビーのまち」として、ラグビーワールドカップ2019大会開催に向けた準備や東大阪市文化創造館（新市民会館）の建設計画などさまざまな新規事業に取り組んでいるところであります。

また、「モノづくりのまち」として、さらなる発展のため、大阪大学との健康・医療分野におけるイノベーションの実現に向けた連携の推進に関する協定を締結いたしました。

さらに、これらの東大阪市の魅力を発信し、新たなツーリズム産業の振興と、市民の皆様が誇りと愛着の持てるまちづくりにつなげていくため、東大阪ツーリズム振興機構を立ち上げました。

次の50年に向け「夢と活力あふれる元気都市・東大阪」の実現をめざし、市民の皆様と協働で地域社会を形成しながら、今後もよりよいまちづくりを進めてまいります。

まちづくりを総合的かつ効果的に進めるためには、多様化する市民の意識動向やニーズをより的確に把握することが必要であると考えています。

このようなことから、本市では毎年、市民の皆様の声を市政運営の基礎資料とするため、市政世論調査を実施しています。

今回の調査では、「東大阪市の広報活動」「文化に対する関心や東大阪市の文化施設」「東大阪市の観光振興」「景観」「健康に関する生活習慣」「識字」について、満20歳以上の2,705人の市民の皆様を対象に実施したところ、多くの方々からご回答をいただきました。これらの結果は、市民の皆様の貴重なご意見として、有効に活用してまいります。

結びに、この調査にご協力いただきました市民の皆様にご心から厚くお礼申し上げます。

平成29年1月

東大阪市長 野田 義和